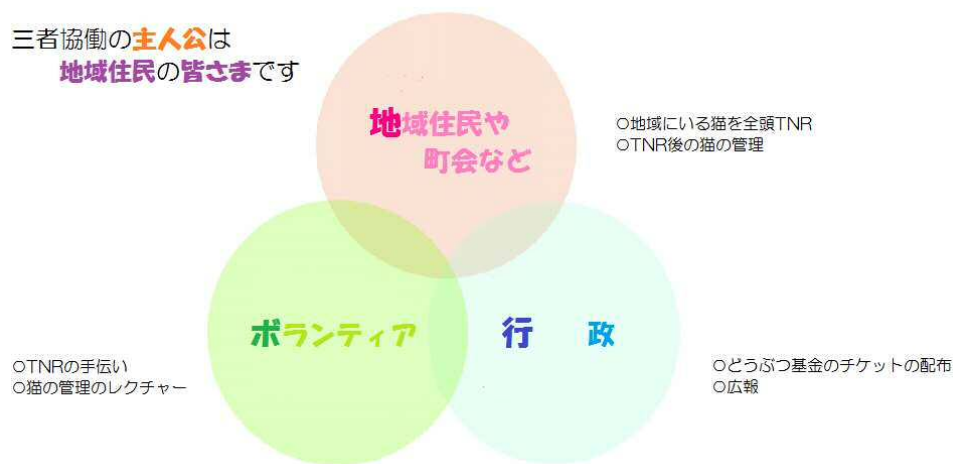


地域猫活動とは、地域住民、ボランティア、行政が三者協働となって行う活動で、

TNR（猫を捕獲(Trap)し、避妊手術(Neuter)を施して、元のテリトリーに戻し(Return)を行い、その後も管理することで他地区からの猫の流入を防ぎ、猫自体は増えない、理想的な集団を作ることを目的としています。

すぐに地域から猫が全くいなくなるわけではないですが、一生を全うした猫から数が減っていきます。

三者協働の**主人公**は  
**地域住民の皆さま**です



## 猫を元いた場所に戻す意義

猫は自分のテリトリーに他の猫が侵入してくると、追い出す習性があります。その習性を利用し、新たな未手術の猫の流入を防ぐ効果を狙います。

もし未手術の猫が流入してきても、給餌をして管理をすることによりすぐに把握ができますので、速やかに手術が行えます。



地域猫活動で大切なのは、TNRを実施した後のマナーマネジメントとされています。

地域で受け入れてもらうためには、猫が迷惑な存在になってはいけません。

そこで解決しなければならない、下記のような問題があります。

### 糞尿

- 悪臭、シミ
- 虫が湧く
- 尿には強い酸が含まれているため、草木が枯れる

### 無責任な餌やり

- 他地区から、未避妊の猫が集まりやすくなる
- 栄養状態が良くなり、亡くなる子猫が減少することにより、数が増える
- 餌をねだる鳴き声がうるさい
- 置き餌を狙ってアライグマやカラス、ネズミが集まり、数が増える  
→子猫が狙われ、命を落とします



TNR



排泄物の管理



定点定時の給餌

### 解決するためには

- 給餌の時間と場所を決める
- 食べ残しはすぐさま片付ける
- 糞尿は餌場の近くにトイレを設置し、よそに排尿する機会を減らす  
→常に餌場やその周辺を、清潔に保つようにしましょう

このようにマナーを守り、一代限りの命を大切にしながら、巡り巡って環境改善につながっていくと考えられています。

※現在（令和6年3月）実施しているところ

- ・大水川散策道（大井水みらいセンター付近）
- ・津堂カラ池遊歩道